

【千葉・外房移住】

憧れのデュアルライフ

千葉県御宿町・Nさんの暮らしかた

取材・撮影*ワイズクリエイティブオフィス

ウイズコロナでは、都会を離れて郊外に移住する人たちが後をたたない。さまざまな生活の変容によって、移住やデュアルライフ（二拠点生活）も選択肢の一つだし、世代的にはセミリタイヤというさらに自由な形態もある。

セミリタイヤにふさわしい房総ライフ

雄大な房総半島から見る太平洋は、湘南がある相模湾の美しさとは違って、濃い青と力強いうねりが魅力だ。アメリカとイタリアで通算16年ほど海外で勤務したNさん（62歳）にとって、早くから決めていた「アーリーリタイヤ（早期に現職から解放される人生）」にはこの御宿台は理想的なフィールドだった。1500区画ほどの宅地があり、終の住処とするシニアから、最近では地元の若いファミリー層も移り住んでいると聞く。JR 御宿駅に近く、治安の良さと整然とした区割りされた美しい街並みは魅力的だ。高台からは太平洋の大海原を望むこともできる。「湘南の美しさも知っているけど、このカントリーサイドの雰囲気、波、それにゴルフ場など総合的に考えてここに決めました」八王子にも自宅マンションがあるNさんの日常は、3分の2がこの御宿台で愛犬と過ごすデュアルライフ生活だ。

件の通り、住まいは長く過ごした南カリフォルニアの住宅を再現したもの。アメリカなラップサイディングの外観と大きなカバードポーチ、外シャワー、室内には薪ストーブ。遊び道具は屋外の自作の小屋に取めてある。コロナ禍のなかで、芝生の育成や菜園と小屋づくり、サーフィンとゴルフ、愛犬との散歩。それは早くから決めていた「アーリーリタイヤ（早期に現職を離れる人生）」、まだ会社に席をおくセミリタイヤだが、なんとも羨ましいかぎりだ。大きな勾配天井のリビングに、午後にふさわしいジャズが流れる。新型コロナは、私たちの生活を大きく変えた。必要以上に人と会わなくなり、家族を見つめ直し、職業や生き方までも変えたのだから。海と山、おしゃれな街もある湘南、サバービア（郊外）な房総ライフ。選択肢は多いほど楽しいが迷っているうちに人生が終わらぬよう、心がけたい。

ラップサイディングの外壁に大きな煙突、広い芝生と大きなウッドデッキ。まさにアメリカのカントリーライフがよく似合うN邸は雄大な房総半島御宿台に建つ。セミリタイヤしたNさんにとってはやりたかった男のロマンが詰まった住処だ



住まいは220坪に敷地に建つ平屋。大きな勾配天井におさめられたリビング・ダイニング。居室は独立した子供たちの大家族が集まっても大丈夫なようにベッドルームが3つ。広い庭の芝生はNさんが自ら手を入れたもの。愛犬には最高のドッグランだ。敷地の北西には母屋の外観に合わせて並んで建てたログの小屋がある。ここは遊び道具を詰め込んだご自慢の作業場だ



◎住宅DATA◎
 千葉県御宿町N邸
 敷地面積 / 730.03㎡ (220.83坪)
 延床面積 / 103.92㎡ (31.5坪)
 構造 / 木造ツーバイフォー工法 平屋
 間取り / 3LDK
 設計・施工 / 有限会社 つるおか工務店

◎MATERIAL◎
 ●外部仕上げ
 屋根 / シングル葺き
 外壁 / ラップサイディング
 ●主要内部仕上げ
 床材 / バイン材 (20mm)
 天井 / クロス仕上げ



TSURUOKA
 General Construction co.

<取材協力>
 有限会社つるおか工務店
 〒299-5102 千葉県東葉郡御宿町久保2039
 TEL:0470-68-4848 FAX:0470-68-5499
<http://www.daiku.co.jp/>